

議案第108号

三田市下水道事業の設置等に関する条例の制定について

三田市下水道事業の設置等に関する条例を次のとおり定める。

平成24年12月3日提出

三田市長 竹内英昭

三田市条例第 号

三田市下水道事業の設置等に関する条例

(下水道事業の設置)

第1条 市民の環境衛生の向上及び都市の健全な発達に寄与するとともに、公共用水域の水質の保全に資するため、三田市下水道事業（以下「下水道事業」という。）を設置する。

(財務規定等の適用)

第2条 地方公営企業法（昭和27年法律第292号。以下「法」という。）第2条第3項及び地方公営企業法施行令（昭和27年政令第403号）第1条第2項の規定に基づき、下水道事業に法第2条第2項に規定する財務規定等を適用する。

(経営の基本)

第3条 下水道事業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

2 下水道事業は、次のとおりとする。

- (1) 公共下水道事業
- (2) 特定環境保全公共下水道事業
- (3) 農業集落排水事業
- (4) コミュニティ・プラント事業

3 計画区域面積は、3,005.9ヘクタールとする。

4 計画処理人口は、125,600人とする。

(重要な資産の取得及び処分)

第4条 法第33条第2項の規定により予算で定めなければならない下水道事業の用に供する資産の取得及び処分は、予定価格（適正な対価を得てする売払い以外の方法による譲渡にあっては、その適正な見積価格）が20,000千円以上の不動産若しくは動産の買入れ若しくは譲渡（土地については1件5,000平方メートル以上のものに係るものに限る。）又は不動産の信託の受益権の買入れ若しくは譲渡とする。

(議会の同意を要する賠償責任の免除)

第5条 法第34条において準用する地方自治法（昭和22年法律第67号）第2

43条の2第8項の規定により下水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除について議会の同意を得なければならない場合は、当該賠償責任に係る賠償額が100千円以上である場合とする。

(議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等)

第6条 下水道事業の業務に関し、法第40条第2項の規定に基づき条例で定めるものは、負担付きの寄附又は贈与の受領でその金額又はその目的物の価額が20,000千円以上のもの及び法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定で当該決定に係る金額が1,500千円以上のものとする。

(業務状況説明書類の作成)

第7条 市長は、下水道事業に関し、法第40条の2第1項の規定に基づき、毎事業年度4月1日から9月30日までの業務の状況を説明する書類を11月30日までに、10月1日から3月31日までの業務の状況を説明する書類を5月31日までに作成しなければならない。

2 前項の業務の状況を説明する書類には、次の各号に掲げる事項を記載するとともに、11月30日までに作成する書類においては前事業年度の決算の状況を、5月31日までに作成する書類においては同日の属する事業年度の予算の概要及び事業の経営方針をそれぞれ明らかにしなければならない。

(1) 事業の概況

(2) 経理の状況

(3) 前2号に掲げるもののほか、下水道事業の経営状況を明らかにするため市長が必要と認める事項

3 天災その他やむを得ない事故により、第1項に定める期日までに同項の業務の状況を説明する書類を作成することができなかった場合においては、市長は、できるだけ速やかにこれを作成しなければならない。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(三田市特別会計条例の一部改正)

2 三田市特別会計条例(昭和39年三田市条例第9号)の一部を次のように改正する。

本則中第3号を削り、第4号を第3号とし、第5号から第7号までを1号ずつ

繰り上げる。

（三田市特別会計条例の一部改正に伴う経過措置）

- 3 前項の規定による改正前の三田市特別会計条例第3号の規定は、三田市下水道事業特別会計に係る平成24年度以前の決算については、なおその効力を有する。

（三田市生活排水処理施設維持管理基金条例の一部改正）

- 4 三田市生活排水処理施設維持管理基金条例（平成6年三田市条例第25号）の一部を次のように改正する。

第4条中「下水道事業特別会計歳入歳出予算」を「下水道事業会計予算」に改める。